

令和4年度 研究報告会



オンライン
開催!

～最新の研究状況を把握するチャンス～

静岡県総合教育センターが取り組んでいる「“学校への還元”を目的とした研究」の成果を報告します。
理論化された研究成果の中から、実践のヒントが見いだせます。
皆様の御参加をお待ちしております。

日時

令和5年2月 16日(木) 午後3時00分～4時10分
令和5年2月 17日(金) 午後3時00分～4時10分

※両日又はいずれかのみでの参加ができます。詳細は本チラシの2枚目を御参照ください

場所

各所属(Zoomを利用したオンライン開催)

申込方法

〈申込期限:令和5年2月10日(金) 参加無料〉

- ・研修管理システム (<https://shizuoka.generalist.jp/tsblms/>) でお申し込みください。
(ログイン後、検索→詳細検索→「研究報告会」で検索)
- ・参加決定後、ミーティングID等は2月13日(月)以降に研修管理システム内の受講メニューに掲載します。
- ・研修管理システムが利用できない所属の方は、メールにてお申し込みください。
その際は、件名に「令和4年度研究報告会申込(所属名)」をお入れください。

静岡県総合教育センター

〒436-0294 静岡県掛川市富部 456 番地

問い合わせ：総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班

TEL 0537-24-9706(直通) E-mail centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp

2/16(木) ※3つの分科会の中から1つをお選びください。

No.	研究(上段:研究名、下段:概要)	担当
1	<p>特別支援学校における子どもの資質・能力の育成に向けた取組に関する研究～ICTを活用した指導法に関する研究～</p> <p>GIGA スクール構想の実現により、子どもたちが ICT のよさや使い方を知り、自らの願いや夢を叶えるために活用することで、学びや生活が豊かになることが期待されます。本年度は、1人1台端末の活用状況や実際の取組についての調査結果を基に、端末活用のポイントを検討しました。</p>	特別支援課
2	<p>教育の目標の実現に必要な教育内容等を教科等横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントに関する研究</p> <p>研究協力校において、学校教育目標及び重点目標の実現に向けた授業づくりを軸とした校内研修の運営及び教育課程編成の工夫に取り組みました。本年度は、研究協力校が全教職員で教育活動の質を向上させるために、どのように校内研修に取り組んできたか実践例を基に報告します</p>	小中学校支援課
3	<p>高等学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した効果的な ICT 活用に関する研究</p> <p>これからの社会で生徒一人一人に求められる資質・能力を育むための主体的・対話的で深い学びの授業改善を進める際には、ICT の効果的利用が考えられます。1人1台端末時代に求められる教員の ICT 活用力向上に資するよう、本課が目指す学校支援体制づくりについて報告します。</p>	高等学校支援課



ICTの強みを生かして、子どもたち自身が世界につながる扉を開く



2/17(金) ※2つの分科会の中から1つをお選びください。

No.	研究(上段:研究名、下段:概要)	担当
4	<p>学習指導要領の着実な実施に向けた、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する研究</p> <p>『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(答申)における、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善の在り方について、全校種を対象とした研究を行っています。本年度は、答申の理解をより深めるためのリーフレットや動画の制作、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるための ICT の効果的な活用方法の研究を進めてきました。その成果と課題及び、今後の展望について報告します。</p>	RPT (令和の学び・プロジェクト・チーム)
5	<p>子どもたちが援助資源につながる環境づくり —子どもたちのレジリエンスに着目して—</p> <p>研修員へのアンケート調査や、養護教諭等への聴き取り調査から、子どもたちが援助資源につながりやすい環境づくりについて研究を進めました。今年度の希望研修で提案した「援助要請の出し方の指導」や、「教育相談体制の見直し」が望ましい環境づくりにつながるのかを報告します。</p>	教育相談課

